



### バスケットボール少年男子 4年ぶり11回目の優勝！

5日のバスケットボール競技最終日、少年男子チーム井手口監督が何度も宙に舞った。

U18日本代表を5名擁する福岡と2名擁する愛知との決勝戦。

福岡は、第1Qから厳しい守りからの速い仕掛けと3Pシュートを効果的に決め、34-9と愛知を圧倒。その後も総合力に勝る福岡が優勝を決めた。試合後、井手口監督は、「最初のディフェンスが良かった」と、作戦通りの試合展開を勝因に挙げ、成年男女の無念を晴らす会心のゲームとなった。

バスケットボール王国福岡の力を見せつける大会となった。



【井手口監督の胴上げ】

### ソフトテニス少年女子快進撃！

少年女子チームは、2回戦から登場。対する香川県を2-1で退けると、3回戦で島根県と対戦。まず、ダブルスの原口美咲選手・久保菜月選手組（ともに中村学園女子高校）が4-0で勝ち、続くシングルス谷水鈴香選手（中村学園女子高校）も4-0で勝ち、早々と勝利を決めた。これで、ベスト8が確定。6日の準々決勝以降が正念場となる。



【円陣を組む少年女子チーム】

### 馬術 人馬一体となる！

静岡県御殿場市で行われている馬術競技。少年団体障害飛越には、吉田・河野組が出場。この競技は、減点法で行われる。1回戦、群馬県を4-36で圧倒。準々決勝では地元福岡県には、1つもミスなく、0-1という接戦を制した。準決勝では、（優勝した）山梨県に敗れたが、堂々の3位入賞。競技得点6点をもたらした。



【河野選手】



【吉田選手】

### ライバル県との比較（団体球技）

10月5日終了時点で、本県の男女総合成績は、1134点で8位につけている。

バスケットボールやラグビーの競技別天皇杯優勝をはじめ、団体競技における活躍が目立つ。また、団体競技における配点が大きいこともあり、今後の、バレーボールチームやホッケーチームの活躍に期待したい。

現時点でのライバル県との比較では、現在総合7位の千葉県、10位の北海道、5位の神奈川県、17位の茨城県を上回っている。

	バスケットボール	ラグビーボール	ソフトボール	サッカー	ハンドボール	小計	バレーボール	ホッケー
福岡	132.5	96	54	10	10	302.5	?	?
千葉	50	10	130	98	10	298	?	?
北海道	62.5	10	50	10	10	142.5	?	?
神奈川	22.5	10	30	30	22.5	115	?	?
茨城	37.5	17.5	10	30	10	105	?	?

国体の情報については、大会ホームページ (<http://fukui2018.pref.fukui.lg.jp/>) より、ご覧ください。  
※Facebookにおいても情報発信を行っています。「ふくおかスポネット」で検索してご覧ください。

【発信元】福岡県立スポーツ科学情報センター スポーツ推進課 企画情報係